



箕面の山にサクラを植えよう！～さくらプロジェクト～

3月13日(日)箕面森町の里山に地元住民200人が集まって、森町自治会主催でヤマザクラの植樹祭が盛大



に行われました。この日は少し肌寒かったのですが家族そろってヤマザクラ(10本)やどんぐりの植樹に加えて、豚汁の振る舞いなどを楽しまれました。今回、植樹していただいたサクラは、箕面の山に自生するヤマザクラの苗木です。サクラの種子を林野庁/箕面森林ふれあい推進センターの職員や、しおんじ山の会(山麓保全の活動団体)の皆さんが採集して、府立園芸高校にお願いして育てていただいた苗木です。ヤマザクラ60本エドヒガン20本が約60cmに成長したので、NPO山麓委員会が各団体に声をかけて3月から山麓部の活動地や民有林、箕面公園など10ヶ所で植樹を行ってもらっているところです。



※箕面森町での植樹 / 植樹エリアは防鹿ネットで囲っています。

府営箕面公園での植樹 / 単木に防鹿ネットを設置

桜といえば、いっせいに咲く園芸種のソメイヨシノ(エドヒガンとオオシマザクラの交配種)を思い浮かべると思いますが、箕面の山には、エドヒガンやヤマザクラ、カスミザクラなど、たくさんの野生のサクラが自生しています。NPO山麓委員会では、4月29日(祝)に千里中央で行う山とみどりの市民イベントで、箕面のヤマザクラの里親を募集するなど「箕面の山にサクラを植えよう！～さくらプロジェクト～」をスタートしようとしています。箕面の山にサクラを植えよう！～さくらプロジェクト～にご協力をお願いします。



エドヒガン



ヤマザクラ



カスミザクラ

非常に長寿の種、天然記念物に指定されている大径木のサクラの多くはエドヒガンです。東北から九州まで広く分布するサクラですが個体数は他のサクラに比べると、はるかに少なく分布地点にかたよりが見られます。箕面には多く分布し、中でも大日駐車場周辺などの群生地は見ごたえがあり希少です。

エドヒガンを追いかけるように赤っぽい葉とともに花が咲きはじめます。ソメイヨシノのように開花時期は集中せず葉の色などにも個体差が見られます。箕面の山では多く見られ、オケ原や教学の森の他にも、大木を見つけることができます。

4月中旬ごろから開花。ヤマザクラに似ていますが、花の大きさがやや小さく、緑っぽい葉と同時に花が咲きます。教学の森、オケ原など、あちこちで見られますが、特に聖天展望台を府道に出た所に2本の大木があります。その左右もあり見ごたえがあります。

箕面の山がピンチです！

2月25日、市民団体や国の職員10名が参加して、3ヶ所に植生保護ネット(パッチディフェンス)を設置しました。最初は、鉢伏山の鉄塔下です。エキスポの森の芝生広場から、資材を抱えて、息を切らせながら登りました。このあたりは、10年以上前は一面のササ原で、中にはササユリ(箕面市の花)も見られたそうです。今では裸地化して、土壌がむき出しとなっています。残っているのは、マツカゼソウなどシカが嫌いな植物だけです。



2006年12月大阪自然環境保全協会:常俊容子さん撮影

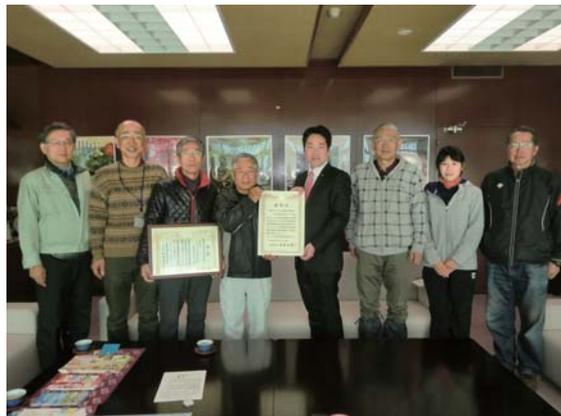
2016年2月ネット設置※ササは全くありません

箕面大滝の上、杉の茶屋から雲隣展望台方面に向かっての所にも設置しました。昔は、アオキがたくさん群生していましたが全く見られず、シカの嫌いなチャノキだけが残っています。ネットの設置中に、斜面を10頭近くのシカが、白いお尻を見せて走り去って行きました。斜面の土壌はひどく荒れており、歩くと土が崩れ落ちます。

箕面の森では増えすぎたニホンジカによる食害のために貴重な植生が損なわれるなど、森林生態系に大きな影響が出ています。また林床の植生回復が見込めず裸地化してしまうと、大量に雨が降ったときに土壌が流出する恐れもあり、森林生態系や農林業に与える影響だけでなく私たちの生活にも影響する課題となっています。

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会(代表:中野皓三さん/事務局NPO山麓委員会)では、行政(国・府・市など)と多くの市民団体が連携して、ニホンジカの保護管理のために「捕獲による個体数管理」「糞塊調査・森林植生調査などのモニタリング調査」「植生を守るためのネット設置」など、多様な取り組みを行っています。

四季折々に美しい箕面の山を「ナラ枯れ」被害から守ろう！



箕面市長表彰をおくられました

平成27年度森林病虫獣害防除活動優良事例コンクールで、全国森林病虫獣害防除協議会会長賞を受賞したNPO山麓委員会/ナラ枯れ防止グループ(代表/竹田光廣さん)に、1月22日倉田哲郎市長から箕面市長表彰が贈られました。

カシノナガキクイムシ(カシナガ)が持ち込む病原菌により、樹木が水を吸い上げることが出来なくなり枯れてしまうことを説明した他、その時期に応じて、枯死木の位置確認や粘着シートによる応急処置を行うなど、市と連携しながら、テーマを決めて活動を行っていることの報告をしました。

3月までは枯死木への粘着シート巻き付け中心の活動ですが、4月からは、ハイキング道や市街地に面した倒れると危険となる樹木に、予防的な処置として「樹幹注入」(殺菌剤の注入)を行っていくとの報告もしました。



枯死木に粘着シートを巻き付け



カシノナガキクイムシ(カシナガ)

箕面の山麓部は、かつて薪炭林として長く利用されていたことからコナラ林が広く分布しています。近年は、経済的な価値がなくなり放置されたことから、萌芽更新が行われず大径木となり、そのコナラの大径木を中心に「ナラ枯れ」が広がっています。

☆活動日:毎月第1・3月曜日(原則)

午前10時~午後3時ごろ

☆集合:NPO山麓委員会事務所

みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア～inせんちゅうパル～

今年も、4月29日に千里中央で、箕面で活動する多くの市民団体や行政(箕面森林ふれあい推進センターなど)といっしょに、四季折々に美しい箕面の森に親しんでいただくための市民イベントを行います。

森のセラピーや里山整備など、さまざまな山麓保全活動の紹介を行うほか、家族で楽しめる遊びがたっぷりの自然工作や自然体験コーナーなども用意して、皆さまのご来場をお待ちしています。

柚子などの箕面特産品の販売のほか、昔なつかしい大衆娯楽「のぞきからくり」の上演、みのお森の音楽隊の生演奏など楽しさ満載です。また、箕面の森の守りびと(公益信託みのお山麓保全ファンドサポート会員)募金にご協力いただいた方に、池田の園芸高校で育てていただいた花苗や、箕面だんだんクラブが作った竹炭などをプレゼントするコーナーもあります。箕面の森を守り育てる活動にご協力をお願いします。

☆日時: 4月29日(祝)午前10時～午後4時 ☆場所: 千里中央 せんちゅうぱる北広場※雨天中止



みのお森のセラピー 癒しの森で心と体をリフレッシュしませんか!

森林浴の森 日本 100 選にも選ばれた箕面の森

森の中に入ると、おもわず心が安らぎリラックスする。そんな体験をしたことはありませんか?

みのお森のセラピーアシスター(ガイド)は、そのような森が持つセラピー効果が最大となるように、皆さまをご案内します。

※プログラム(例): コンディション測定・森林安息・森林散策・森林深呼吸・森林ストレッチ・事後コンディション測定など

※実施月日: みのお森のセラピーのチラシをご参照ください。

10時～13時 定員先着10名 一人2,500円

(ストレス測定料込み)

※申込み・問合せ: NPO山麓委員会



第12回 みのお森の学校～人と自然の入門講座～受講生募集を始めました

四季折々に美しい箕面の森をフィールドに、学ぶ、活かす、楽しむ、育てる、守る。

みのお森の学校は、講義(午前)と楽しい実習(午後)で、箕面の森の守りびとを育てる入門講座です。

全10回講座になって3年目の森の学校、身近な箕面をフィールドに、人と自然との関わりを広く学べることから毎年受講生は定員を超える人気の講座になっています。受講希望の方は、お早めにお申込ください。

☆開催日: 平成28年9月18日(日)～

平成29年6月18日(日)(全10回)

オプション2回

☆定員: 20名 ☆受講料: 12,000円

(日曜)	午前(講義)10時～12	午後(実習)13時～15時
9月18日	さあ、はじめよう!	森に親しむ、森に入ろう!
10月2日	フィールドを知ろう!	木々と友達になる
10月16日	森のいろんな働きを知る	植物の様子を調べよう
10月30日	<オプション>森の癒しを感じよう!(森のセラピー体験)	
11月13日	里山ってなんだ?	きこり体験をしよう
12月4日	生きものたちのつながり	森のおくりものを楽しもう!
1月15日	<オプション>初詣と新年会	
2月5日	違うって素晴らしい	森のおそうじ、森に恩返し
3月5日	森と人とのいま・むかし	聖地を訪ねて、気分は巡礼
4月9日	これぞ里山 台場クヌギ林&「菊炭」炭窯見学(能勢・妙見口)	
5月14日	森のいろんな仲間たち	里山新発見
6月18日	箕面の森の活動紹介	箕面の森の守りびと誕生!



*オプションは自由参加・費用別途、4/9現地までの交通費は別途必要

「箕面の森の守りびと」になりませんか！

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、箕面の山の緑を守り育て活かすことを目的として、山林所有者や市民による山麓保全活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

箕面市では、新たに緑化負担税の導入など、財源確保に努めていますが、このような税だけでなく、多くの市民や企業・団体の皆さまのご支援・ご協力が必要となっています。

毎年 1,000 円以上寄付をしていただける「箕面の森の守りびと」(みのお山麓保全ファンドサポート会員)を募集しています。

また、箕面市の「ふるさと寄附金」(山麓保全)をご利用の場合は、2,000 円を超える部分については、確定申告により税控除の対象となります。5,000 円以上のご寄付で、下記のような「謝礼品」を希望することができます。



寄附額 5,000 円以上
①限定！ゆずるグッズ



寄附額 10,000 円以上
②箕面を丸かじり！特産品セット
③箕面ビールセット
④箕面のこだわりスイーツセット
⑤いつでも一緒！ゆずるぬいぐるみ
⑥オレンジゆずるバス回数券



寄附額 50,000 円以上
⑦箕面ビールセレクション



ご寄付を頂いた方には、会員シールの他、情報誌「山なみ通信」などをお送りさせていただきます。

※詳しくは、ホームページ「山なみネット」、または「箕面の森の守りびとになりませんか！」のパンフをご参照ください。

公益信託「みのお山麓保全ファンド」募金実績

期間：平成 28 年 1 月～ 2 月

▽箕面の森の守りびと会員	個人の会	¥22,000
▽募金支援 自動販売機	箕面ネイチャールーム・1-joyoアルチメイトファクトリーなど	¥9,794
▽企業からの募金	阪急電鉄(株)・阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト(もみじの足湯) ゆずるの足湯募金(箕面滝道 / 協力：大阪観光(株))	¥162,062 ¥16,191
▽募金箱 その他		¥35
▽箕面市の「ふるさと寄附金」(山麓保全)		¥74,000
	計	¥284,082

公益信託「みのお山麓保全ファンド」助成団体の報告会・交流会 日程を決定！

☆日時：2016 年 6 月 26 日(日)午後 1 時 30 分～ 報告会終了後 交流会を行います。

☆場所：箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ 1 号館)地下 多目的室

箕面の山で活躍している団体の皆さまに日ごろの活動の様子を発表してもらいます。これから、活動に参加したいと思っている方新しく活動を立ち上げたいと思っている方、山の活動と連携したいと思っている方など・・・

山の活動に興味のある方には、ぴったりのイベントです。報告会の後の楽しい交流会もお楽しみに！お気軽にご参加をお願いします。



報告会



交流会

NPO法人みのお山麓保全委員会 2016年度 定期総会(第15回)

☆日時：2016年5月29日(日)午前10時～11時50分(予定) 総会終了後 懇親会

☆場所：箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)地下 多目的室

2015年度の事業報告・2016年度の事業計画・予算・役員選任など

※会員以外の方でも傍聴可能です。NPO山麓委員会事務局までご連絡ください。



NPO山麓委員会

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

